

# ヨコハマ市民まち普請事業

## 第2次整備提案書



### ※ 記入上の注意

- 2号様式はページを増やさず、必ず3ページ以内でまとめてください。
- 2号様式は市民に公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。

### 1 整備提案の概要について

整備提案名	県営住宅跡地を利用し、地元が多目的広場として利用
提案グループ名	ふるさと侍従川に親しむ会（本書以降侍従会）
整備場所の所在地 (町名又は丁目まで記入)	横浜市金沢区 大道 1丁目
整備したい施設の概要	侍従川大道青少年広場は地域の身近な広場空間として位置づけられ、侍従川に面した川を眺めながら老人や子供達が日常的に憩える木陰とベンチのある草芝の多目的な広場を目指す。 又、大道町内会の交流会や侍従会の川のイベント時に利用する水の供給の出来る井戸のある広場、そして、夏に子供達が水遊びの出来る円形水盤の浮上池も備わった広場を目指す。 この広場は同時に災害時に水を供給できることから、防災機能を持つ広場にもなりうる。
整備助成金申請 予定額	500万円
設計及び整備の スケジュール	平成19年11月迄に広場計画を町内会住民や侍従会のメンバー、近隣の大道小学校の子供達、関東学院大学土木研究室の学生達と共に、様々なイベントやアンケートを通して参加者から広場整備の内容の提案、協議を受け、翌年1月迄に関東学院大学に於いて、参加者や住民と共に検討した計画を設計図にまとめる予定です。 ・ 施工1、上総堀の井戸掘りは枯れ竹を利用することから、冬に竹の弓等の掘削道具の準備に入り、まち普請事業決定後以降、掘削開始し、同時に朝比奈の地主さんの協力の下に腐葉土作りに入る。 ・ 施工2、井戸は目標60mぐらいを住民や子供達の体験学習を兼ねて掘削し、9月位迄に水の自噴を確認して井戸の掘削を完了する。 ・ 施工3、10月より井戸水の貯水槽、流し台、排水枘をコンクリート製で制作し、配水管の埋設工事等、草芝を植える下地の腐葉土の入れ替え、浮上池の円形広場の水を溜める粘土層の地盤整備を住民や子供達の手によって広場整備に着手する予定です。 ・ 施工4、平成21年2月より手作りベンチの制作、植樹、花壇作り、芝の種まき等を子供達も参加して行い公園整備は3月中に完成する。 ○今後の課題として ・ 施工5、「もう一度子供を川で遊べる場」を目指す侍従会の理念の下に、川に面する親水護岸階段整備は今後、住民要望として神奈川県河川管理部と協議しながら実現に向ける予定です。 ・ 施工6、地元住民の悲願である盆踊りの出来る広場と環境教育の拠点として生物の生息する池と流れのある拡張広場整備は、神奈川県住宅整備部と協議をしながら実現に向けて活動する予定です。

## 2 創意工夫について

<p>計画について、特に工夫した点を記入してください。          (住民等が持つ発想、方法などを生かしたアイデアやユニークさ及びデザインへの配慮)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 上総堀の井戸……子供達は井戸水を使った池の要望があり大人達は多目的に使える芝の広場の要望がある。限られた広場空間の中で両方の希望をかなえる為に日常は芝の広場で、夏季やイベント時には大人達の管理の下に水を張れる浮上池を広場に設けることが出来る装置に工夫しました。</li> <li>○ 井戸の常時噴出する井戸水の吐水口を「地下から川へ繋がるシンボル」として子供達のデザインコンペを行い、採用された物を粘土で制作し貯水槽の口に装着する。</li> <li>○ 防災機能を持つ広場……日常的に利用しうる井戸水はイベント時だけでなく、災害時の給水機能として利用することで、災害時の一時防災広場としての機能を付加できます。</li> </ul>
<p>整備における地域での費用や労力の負担について、特に工夫した点を記入してください。          ※ 詳細については、「想定整備費用内訳書(第3号様式)」に記入してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ メンバーの専門職の協力……侍従会や沿川町内会には井戸掘りの専門家、植木職の専門家、土木工事の経験者等が揃っているので、上総堀の工事や、植樹工事、広場の転圧、整地工事、排水埋設工事は彼らの持つ技術指導の下に住民の労力提供により工事が実施される事となる予定です。</li> <li>○ 材料費の支給……材料は地元住民の協力で、安価な地元供給資材として杉の間伐材や芝の下地となる腐葉土等を利用し、その他の整備材料となる資材は行政の補助資金の提供により資材購入し、地元専門家の技術指導により、整備にかかる労力の大半は住民の協力下に資金負担を軽減した整備が実施できるものと思われます。</li> </ul>
<p>整備した施設の維持管理・運営<sup>注5)</sup>計画及びその実施方法などについて、特に工夫した点を記入してください。          注5) 施設を活用したまちづくりイベント等を含む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 専門家との協力              通常の草刈や清掃は町内会と侍従会のメンバーにより金沢区に提出した広場維持管理運営規約(別紙 1 参照)にのっとり地元住民間で構成された管理運営委員会の責任の下に遂行します。              上記広場整備の維持管理は、そこに住む専門家が製作に関わる工事の技術的指導の下に補修可能なことであり、広場を利用する住民達と侍従会メンバーの労力提供により、これまで町内や川で活動してきた侍従会の毎月末に行う川のクリーンアップ、子供達の生き物野外活動等、定期的に行う具体的活動と併せて、定期的維持管理ができる事となり、広場の維持管理活動が可能なこととなります。              特に井戸の貯水槽は衛生的管理に心掛け、地元消防団の協力の下、住民と共に防火訓練を兼ねて給水ポンプを利用して、定期的に水槽の清掃を行う予定です。</li> </ul>

## 3 実現性について

<p>地域(地権者、整備場所の近隣住民、地域住民、自治会町内会等)での合意形成や関係機関との調整結果の概要について記入してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 神奈川県住宅整備部と横浜市との合意              神奈川県の住宅整備部は地域の広場として横浜市に貸出し、横浜市は金沢区役所地域振興課を窓口として地元へ貸し出すことが、平成19年8月に合意されました。</li> <li>○ 横浜市金沢区地域整備課と地元地域の町内会等との合意              侍従川大道青少年広場として維持管理規約を金沢区に提出し、青少年広場の土地使用に関する覚書(別紙 2 参照)に添って利用する旨は、大道町内会と侍従会の合意形成のもとに、同会のメンバーで構成する広場管理運営委員会(別紙 3 参照)と金沢区地域振興課との間で平成19年11月に締結しました。</li> </ul>
--	--

#### 4 公共性について

<p>地域のどのような課題やニーズに基づいて整備計画が作成されたのか、また整備した施設が地域にどのくらい貢献するか記入してください。</p> <p>※ 第1次整備提案書よりも具体的に記入してください。</p>	<p>○町内会で川を介した身近な交流広場を求める 川を橋の上から眺めてきた住民が当該広場で川に面する新しい視点場ができ、かつ住民の夏祭りイベントや日常の子供や老人の憩い交流できる場所となります。</p> <p>○侍従会の川に面するイベント広場 これ迄、川の清掃、イカダ下り等の川の中で活動し、集る場所は川から離れた大道小学校で行ってきたが、川に面する広場ができる事は、町内会と共催する芋煮会、毎月行うクリーンアップ活動や生き物野外教室、小学校の春秋の川の清掃等の川のイベントの中継地となり、活動の拠点として極めて有効な空間となります。</p> <p>○川を介して地域町内会とテーマコミュニティである侍従会との交流の出来る場所であり、交流を通して、沿川住民が地元地域の自然や歴史を知る上で大切な拠点となります。</p>
--	--

#### 5 費用対効果について

<p>整備コスト縮減について、特に工夫した点を記入してください。</p> <p>(材料の調達方法や施工業者への発注方法など)</p> <p>※ 整備に要する費用や労力の負担については、「2 創意工夫について」に記入してください。</p>	<p>○メンバーの所有する地元材、専門職の活用 侍従川周辺住民の協力の下に、個人が所有する山等の土地から、広場の客土用腐葉土、竹林から上総掘り井戸の道具である枯れ竹と掘削道具、ベンチや花壇の際等の木製加工品となる杉林の間伐材等、原材料や道具の低額支給が期待できます。</p> <p>町内会や侍従会のメンバーに様々な専門家が多くの事と、これまでも労を惜しまず、色んな場面で協力しあってきた実績が、本事業の整備段階で相互有効に働ける事が、更に町内会や侍従会のメンバーの結束を強める形となりつつあります。</p> <p>町内会住民と侍従会メンバーの全体的協力の下に労力を提供できる作業により、本事業を遂行する予定であります。</p>
--	---

#### 6 地域まちづくりへの発展性について

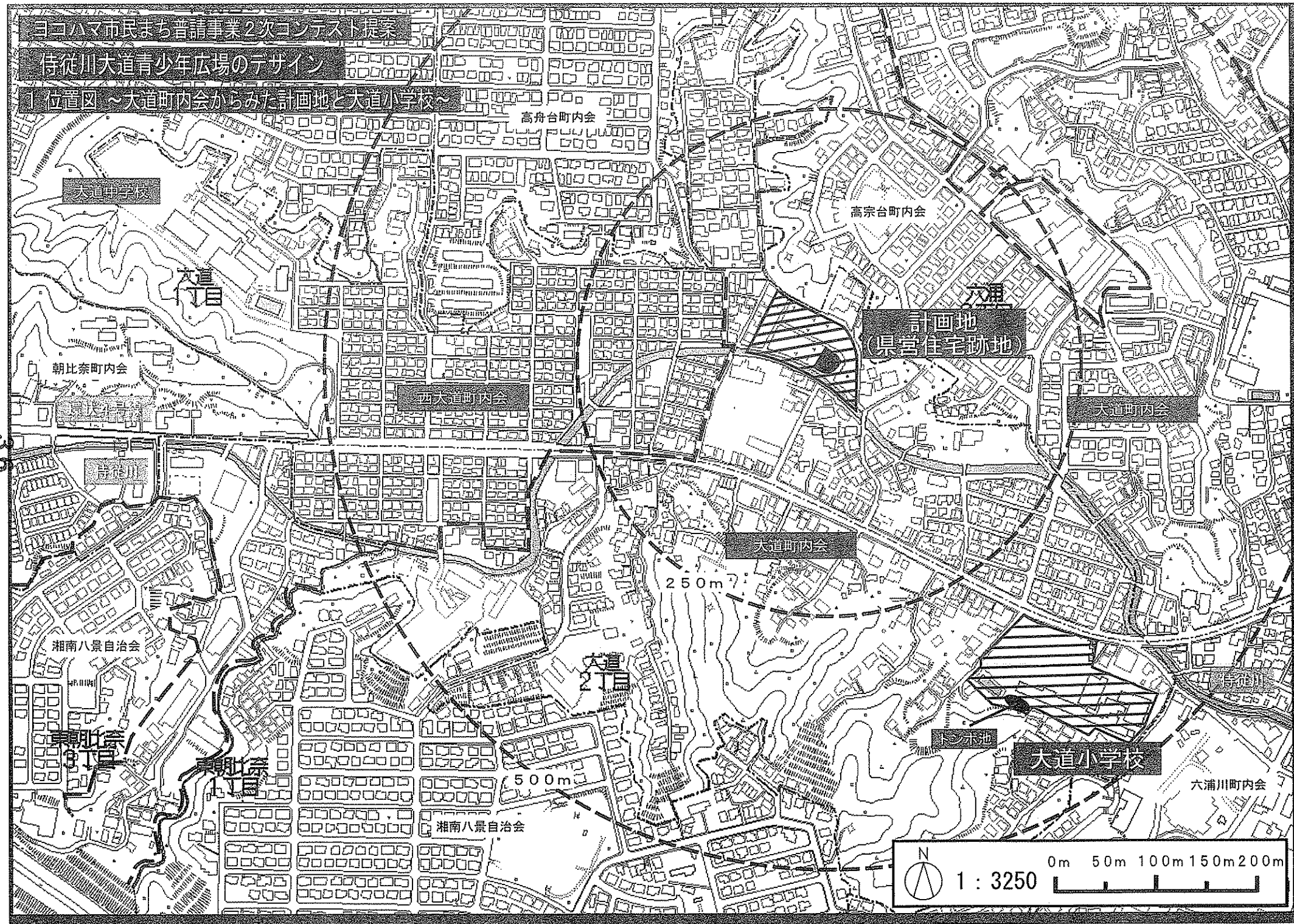
<p>整備をきっかけとして、地域コミュニティが広がる又は深まる可能性、及び地域のまちづくり活動が活発化する可能性について記入してください。</p>	<p>○交流広場を起点として更に様々な交流活動として発展 侍従会は、これ迄、川の清掃、自然の生態系調査等を大道小学校を拠点として手掛けてきましたが、当該広場が川に面するもう一つの活動拠点となることで、地元町内会との交流を通して、川を介して、地元の歴史や自然を理解し合える事は、川への不法投棄防止や川の清流化等の自然や景色の変化に目が行き届き、自分の住む地元の愛着がより増す事となり、広場を通して目に見える形で効果的に交流する事に期待されます。</p>
---	---

#### 7 特にPRしたい点について

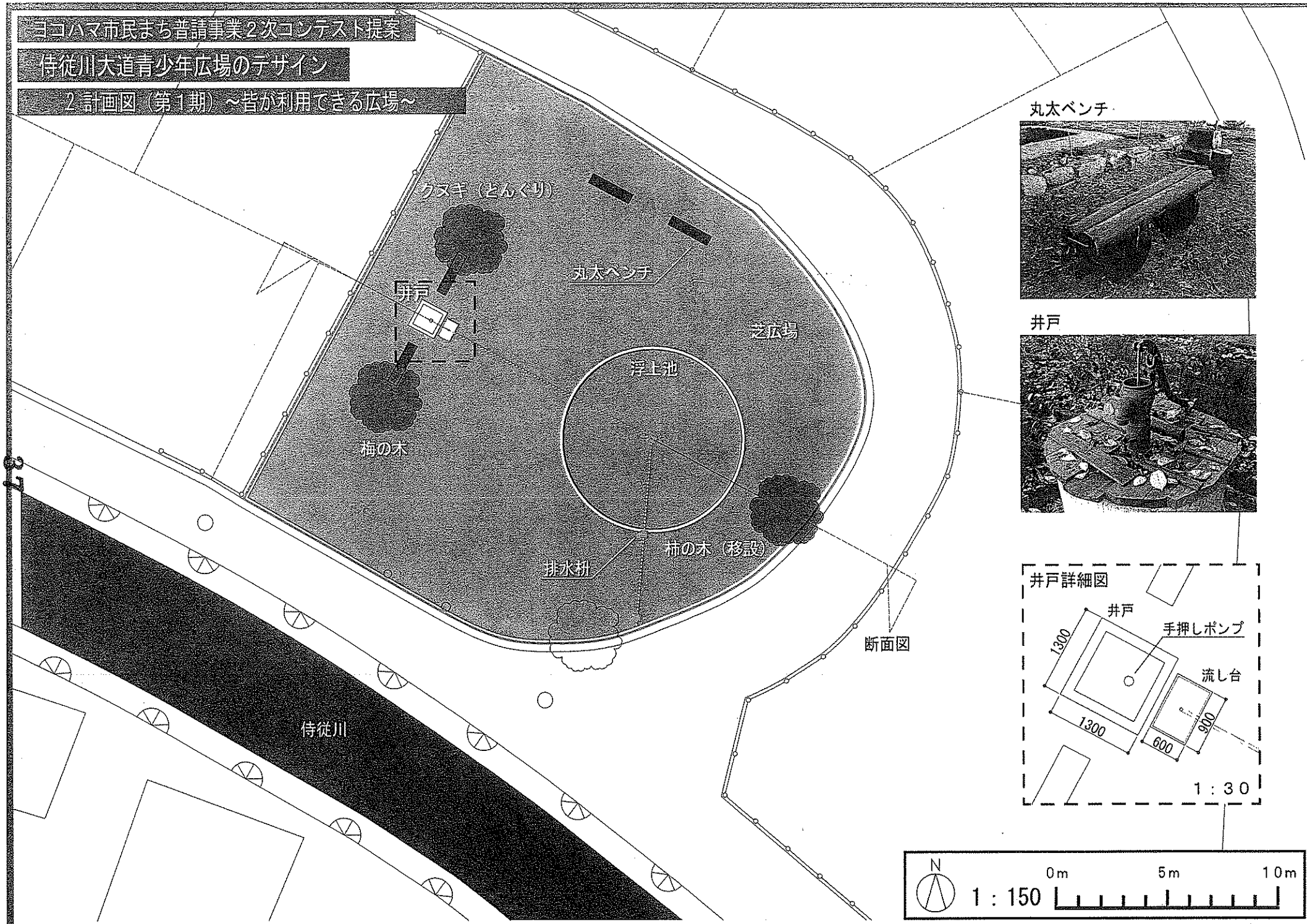
<p>提案について特にPRしたい点があれば、記入してください。</p>	<p>住民の力で出来上がった上総堀の井戸の自噴する水を利用して、日常の限られた空間で浮上池のような子供も、大人も利用する多角的な広場利用、其の水がある事で防災広場としての機能を有する複合的な広場の可能性を期待します。</p>
-------------------------------------	--

記載内容について次の点を確認後、チェックボックスに✓を入れてください。

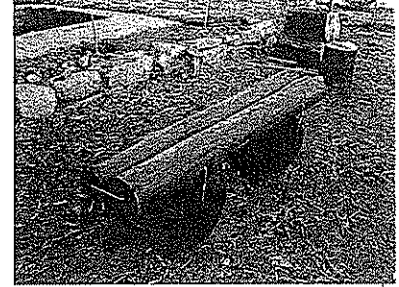
- 記載内容は真実であり、虚偽はありません。
- 記載内容に個人情報はありません。



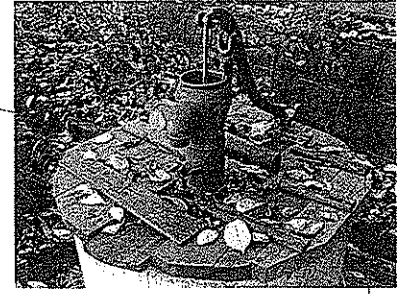




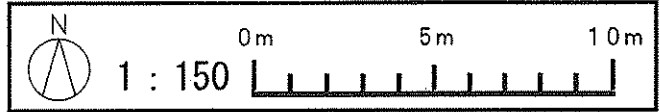
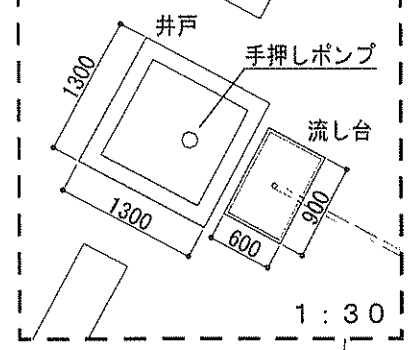
丸太ベンチ



井戸



井戸詳細図



## ヨコハマ市民まち普請事業

### 想定整備費用内訳書

※ 記入上の注意

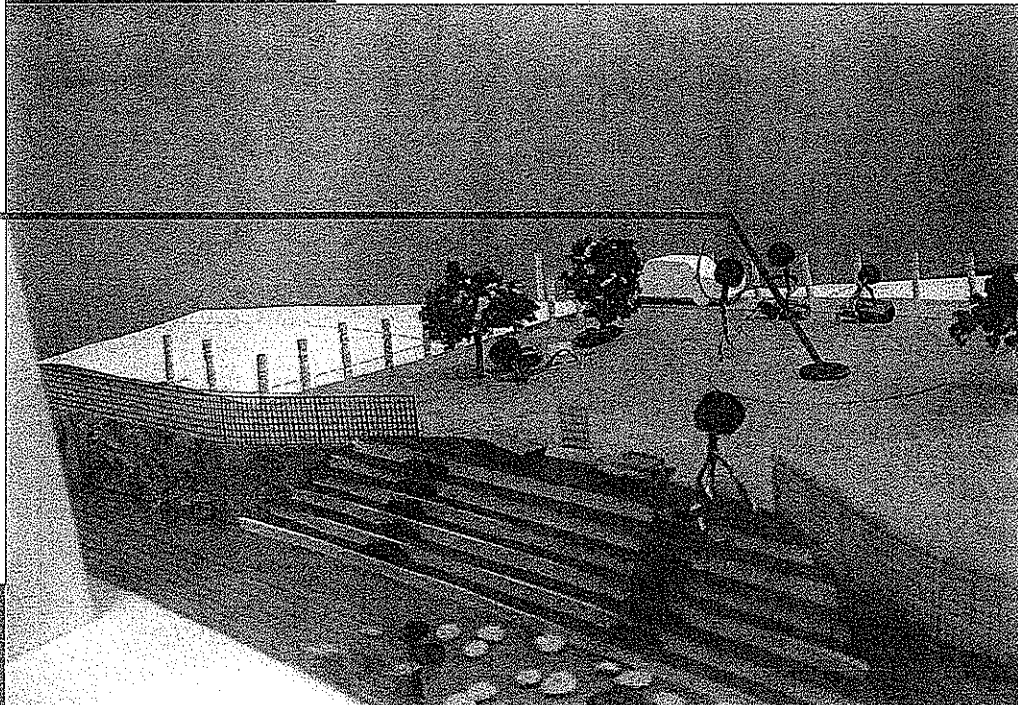
- 「主な整備項目」「細目」欄の記入にあたっては、事務局と事前に十分調整してください。
- 「数量」欄については、やむを得ない場合を除き、「一式」と記入しないでください。
- 「地域住民等の参加」欄については、例えば地域が労力を負担する場合は、何人くらいが何日間くらい作業を行うかなど、できるかぎり具体的に記入してください。（見込みも含めて記入してください。）また、小中学校や子供会などが参加する場合は、その旨を明記してください。

主な整備項目	細目	数量	単価	計	地域住民等の参加 (費用又は労力の負担等)
施工監理費	施工図作成及 監理立会い 技術指導費	8人 12人 20人	25,000/人		関東学院大学土木 コーディネーター 地元住民専門家
計				1,000,000	
広場工事 ・芝広場	草芝種蒔き 黒土客土 150 下地盤転圧200 縁石 PCコンクリー ト100×100 80m コンクリート、50 砕石 100 下地 花壇 縁木50φ300 300×30m	400㎡	4,000/㎡	1,600,000	下地転圧、客土入 替え、草芝種蒔き、 養生住民参加 10人×4日 大道小の子供達参 加40人/CL×2日
・浮上池 50mφ	草芝種蒔き 黒墨客土 150 粘土層 200 池縁石PCコンクリー ト100×100 25m コンクリート、50 砕石 100 下地	50㎡	6,000/㎡	300,000	下地転圧、客土入 替え、草芝種蒔 き、養生住民参加 5人×2日 大道小の子供達参 加40人/CL×1日
・休憩ベンチ 製作	杉丸太加工 80φ L=2000 W=450 H=360 止め金物	4箇所  1式	40,000/ 箇所	160,000	ベンチ制作作業 住民参加 5人×4日
植樹工事	柿の木2.5m移植 梅ノ木2.0m移植  クヌギ 2.5m購入	2本  1本	10,000/ 本  20,000/ 本	40,000	植樹、移植作業は 専門家の指導によ り住民参加 5人×2日
計				2,100,000	

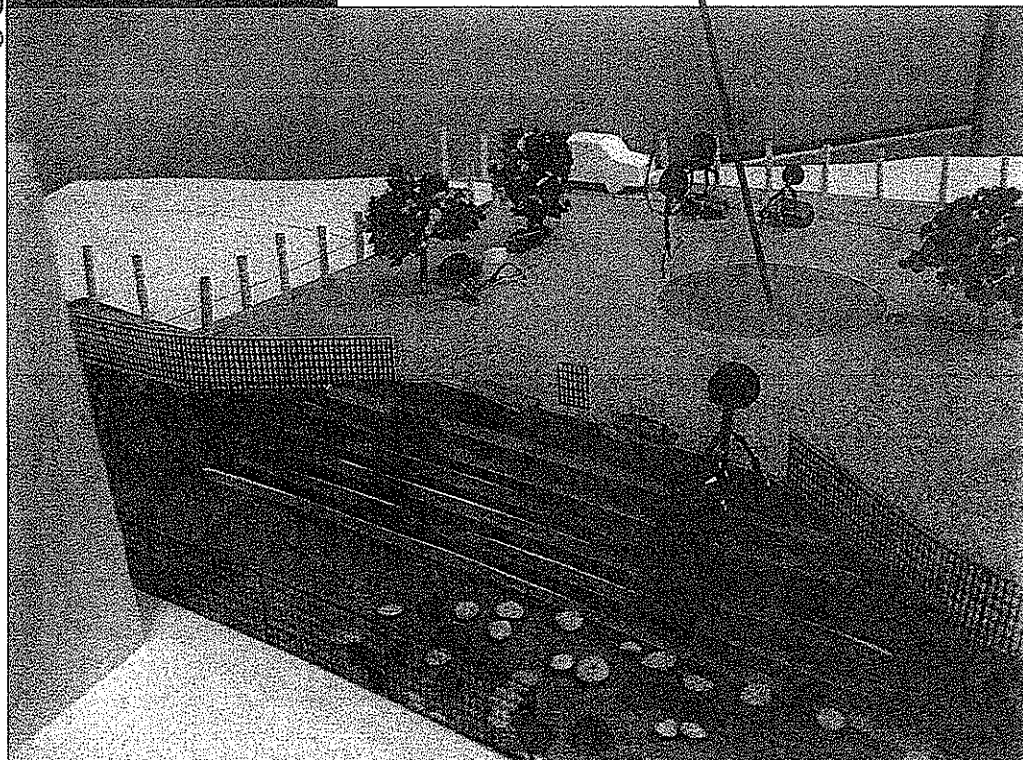
井戸工事 ・井戸掘削	枯れ竹等の資材 及び掘削工事	60m	20,000/m	1,250,000	専門家の手助けは 住民参加、 3人×10日 井戸掘り体験を 大道小の子供達参 加40人/CL×2日
	鋼管50φ埋設	10m	5,000/m		
・貯水槽1.5L	コンクリート製 t=150 工事費 合板形枠 t=12 枠止め金物 W=1300×1300 H=2000 手づくり吐水口 PCコンクリート蓋 ベース砕石 150	1箇所	100,000/ 箇所	100,000	コンクリートの制作 土木工事は専門家 の指導の下、 住民参加 5人×4日 大道小の子供達参 加40人/CL×2日
・ポンプ据付	手押しポンプ	1基	100,000/ 基	100,000	
・流し台据付	既成品PC流し台 L=900 D=600	1箇所	50,000/ 箇所	50,000	土木工事は専門家 の指導の下、 住民参加 5人×2日
・排水枡据付 トラップ 蓋及グレー チング	流し台 浮上広場中心 池オーバーフロー U字溝脇枡300φ深形 蓋 SUS格子 300×300	4箇所	4,500/ 箇所	30,000	土木工事は専門家 の指導の下、 住民参加 5人×2日
		2箇所	6,000/ 箇所		
・配水管工事	遣り方 広場内VP管 100φ埋設 下地 コンクリート100 砕石 150 ゲートバルブ	1式	80,000	340,000	埋設工事等土木工 事は専門家の指導 の下、住民参加 3人×5日
		20m	12,000/m		
		1箇所	20,000/ 箇所		
計				1,870,000	
その他外構 ・U字溝蓋	コンクリート PC版3箇所	20m	1,500/m		作業は住民参加 5人×1日
計				30,000	
合 計				5,000,000	住民参加 180人 大道小の子供達の 参加40人/CL 7日

浮上池

日常時の芝広場



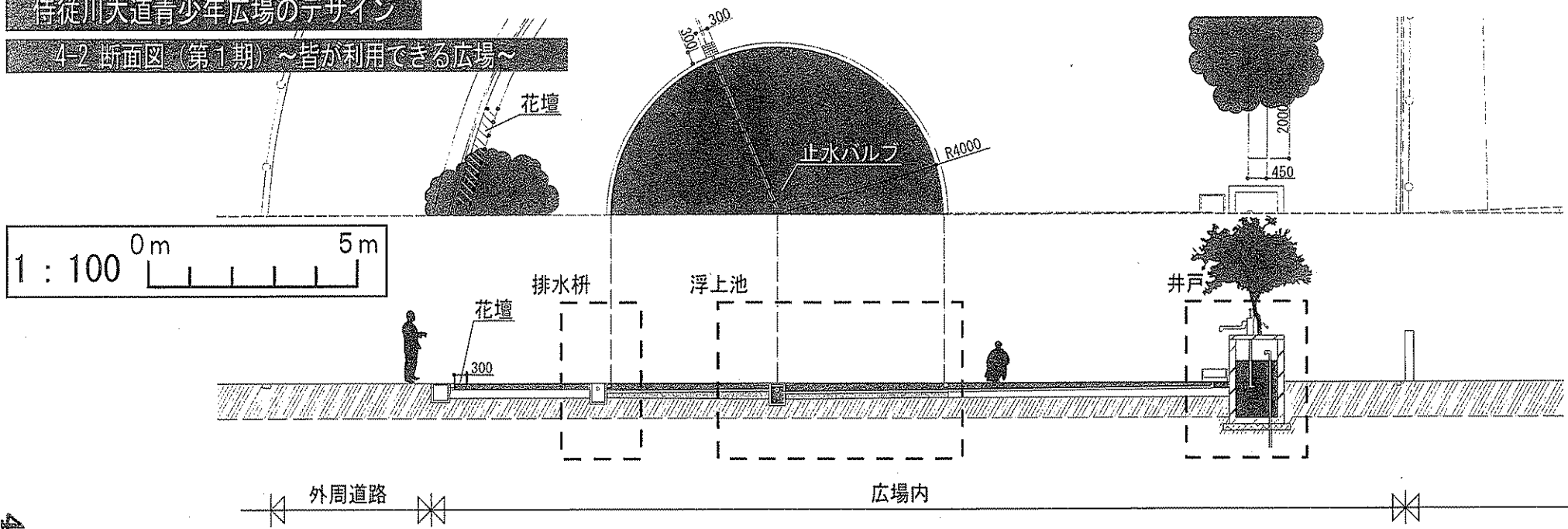
浮上池利用時



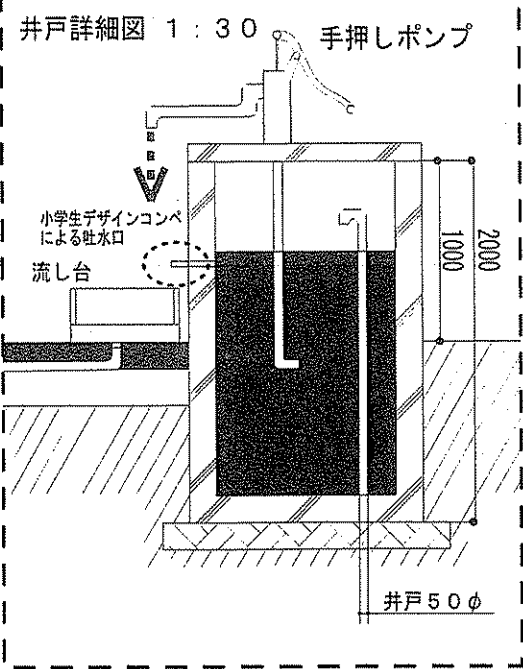
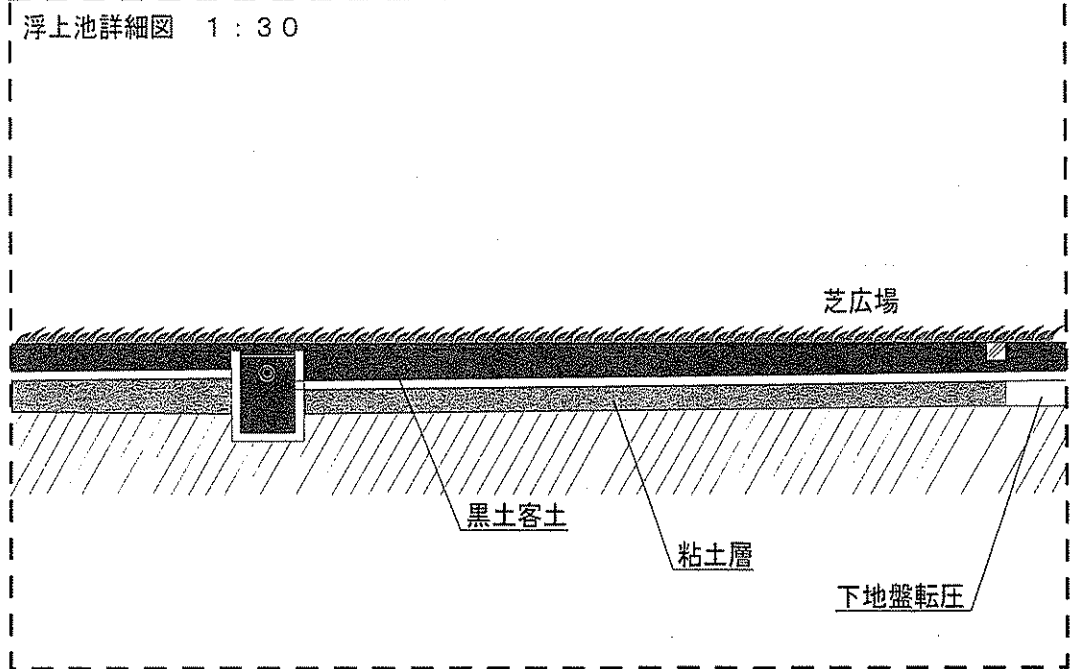
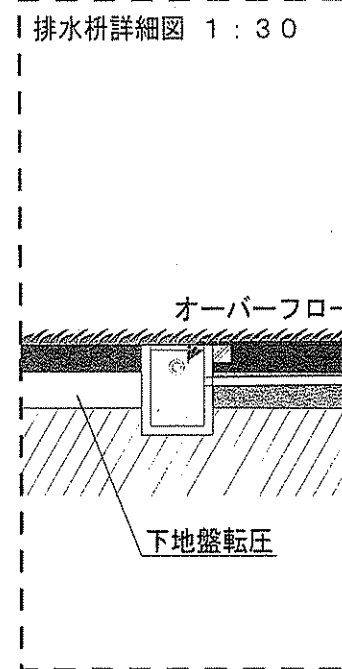
- ・ 大道町内会の交流拠点および、ふるさと侍従川に親しむ会の活動交流拠点
- ・ 日常時、池は芝の多目的広場と一体化している
- ・ 池の利用時に、井戸の水を溜めることで池を浮上させる
- ・ 親水階段の蹴上げ高を調整し、上り下りしやすくしている
- ・ 踏み面を広く設け、川を眺めて座ることができる階段としている







40



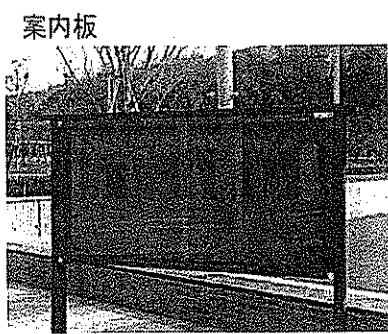
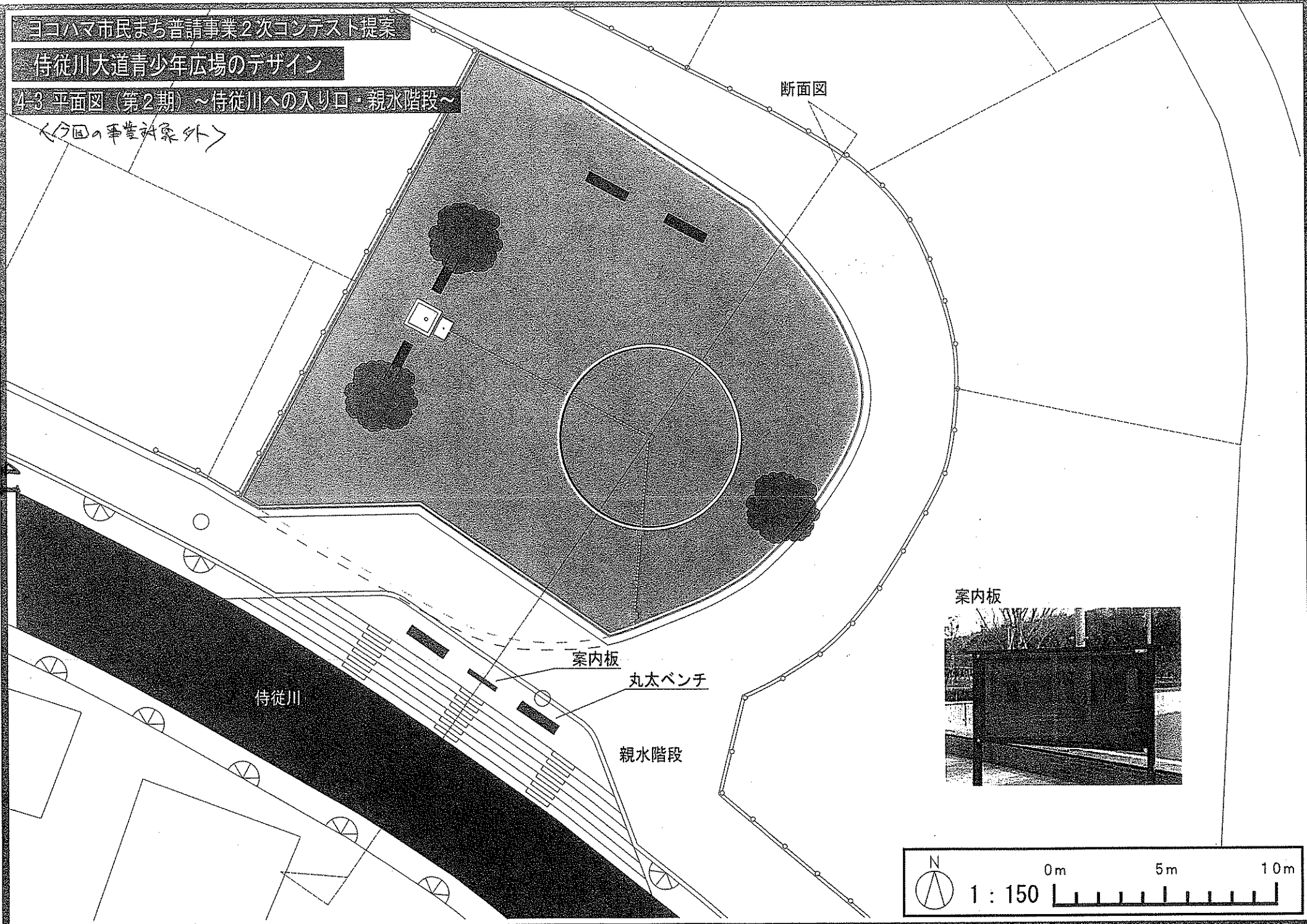
ヨコハマ市民まち普請事業2次コンテスト提案

侍従川大道青少年広場のデザイン

4-3 平面図 (第2期) ~侍従川への入り口・親水階段~

<今回の事業対象外>

断面図



N

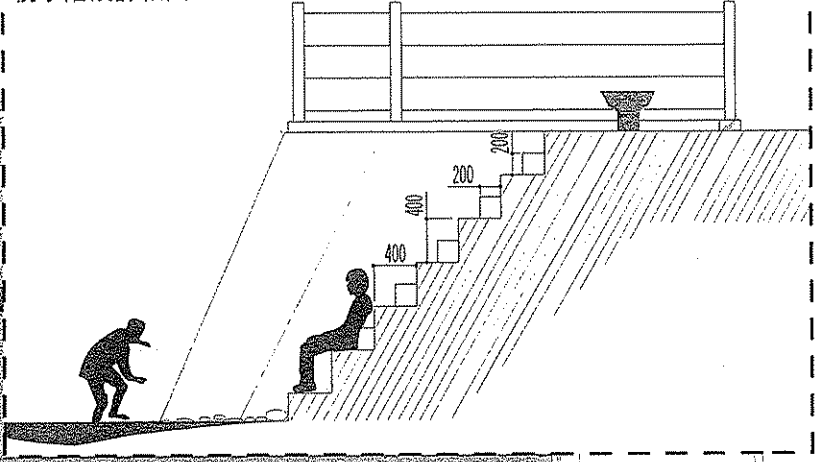
0m 5m 10m

1 : 150

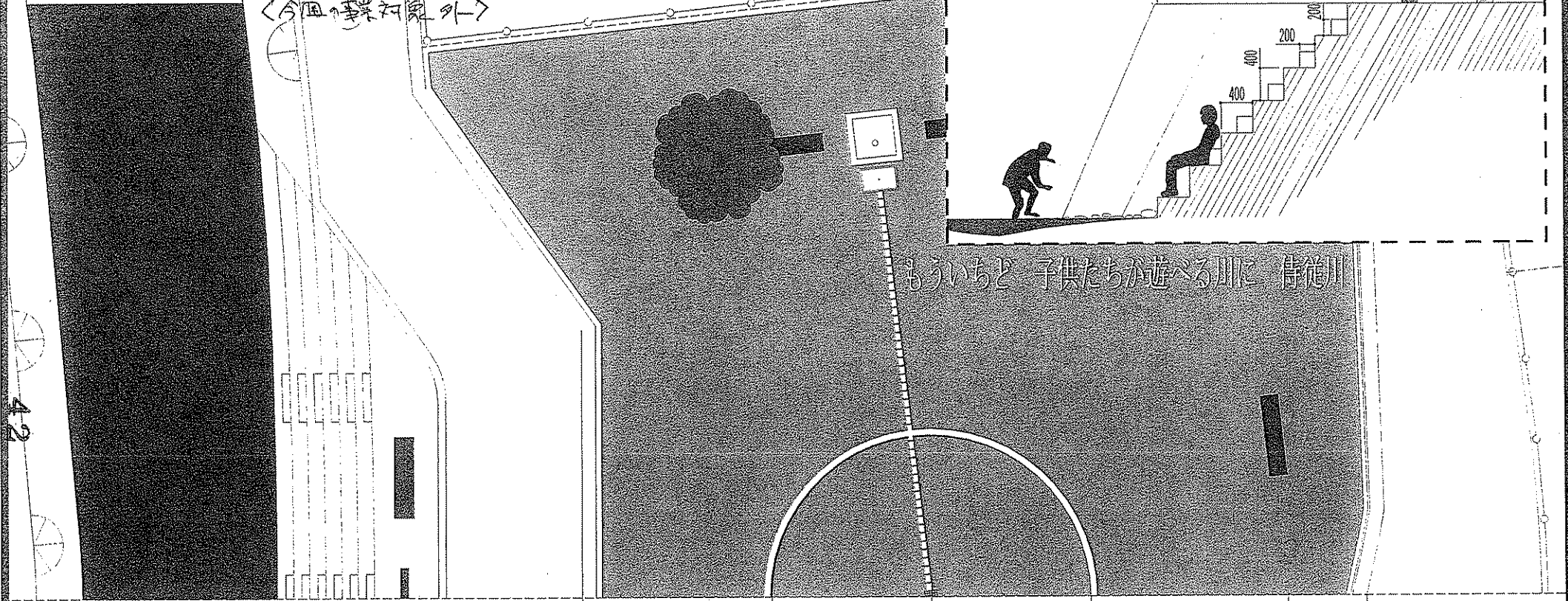


〈今回の事業対象外〉

親水階段詳細図 1:50



もういちど 子供たちが遊べる川に 侍従川



親水階段

侍従川

梅の木

クヌギ

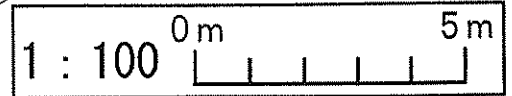
井戸

丸太のベンチ

U字溝

縁石

排水柵



堤内

親水階段

管理用道路

堤外

広場内

外周道路



〈今回作業対象〉

### 侍従川ふるさと再現ゾーン

- ・井戸水を使ったビオトープ
- ・水辺の植物などを植え、自然のもので季節を感じれる場に
- ・ゲンジ、ヘイケホタルやホトケドジョウの保全プロジェクトも兼ねる
- ・イベントにも活用できる田んぼ

4-5  
地

井戸の水を流す水路

計画地

(県営住宅跡地)

### 盆踊りゾーン

盆踊り広場を設け、皆が集える場に

水温調整池

田んぼ

盆踊り広場

広場ゾーン

### 〈第三期整備〉

- ・侍従川の原風景を再現  
(ふるさと侍従川に親しむ会 顧問 廣瀬一雄さんの「侍従川の思い出」を参考とした)
- ・子供が生き物とふれ合える場所
- ・地域交流の場所
- ・防災拠点



1 : 500

0m

15m

30m